



千葉県地域IT化推進協議会 「食の価値情報部会」の設立目的

- 全国有数の食の宝庫である千葉県
- 一次産業から三次産業までを含んだ食の関連業界における「食の価値情報」という切り口
- 県内食品産業の競争力強化と地域の活性化を目的として、情報収集等の研究活動を行う



千葉県地域IT化推進協議会 「食の価値情報部会」の活動

平成22年度	部会発足	<ul style="list-style-type: none">● 「食」業界における情報価値の探究● 食の源流である農業の情報化を研究
平成23年度	農業IT 実証事業	<ul style="list-style-type: none">● 農業の情報化の実証開発を実施 「農家の日記帳モデル」 →商用化へ 現「畑らく日記」
平成24年度	調査研究活動	<ul style="list-style-type: none">● 2つのテーマについて勉強会を開催 ①農業とIT ②食品加工業のIT
平成25年度	地域IT化課題 提案活動	<ul style="list-style-type: none">● パーソナライズされた食の情報価値● 農業と地域活性へのIT活用の検討
平成26年度	地域IT化課題 提案活動	<ul style="list-style-type: none">● 農業と地域活性へのIT活用の検討● 県職員向けに農業情報化研修を実施
平成27年度	地域IT化課題 提案活動	<ul style="list-style-type: none">● 農業と地域活性へのIT活用の検討● 県職員向けに農業情報化研修を実施



平成27年度参加メンバー

- 株式会社イーエスケイ
- 株式会社エー・シー・イー
- 千葉県商工労働部
- 千葉県農林水産部（農業情報化研修）
- 日本農業情報システム協会（農業情報化研修）
- 一般社団法人千葉IT経営センター（事務局）

- ◆ 1-2か月に一度のペースで打合せ実施
- ◆ 必要に応じて、各所へ出張訪問



「農業情報化研修」の様子

- 日時：平成28年2月2日（火）
- 場所：千葉県農林総合研究センター 農本館2階会議室B
- 参加者
 - 各農業事務所改良普及課 各2名
 - 農林総合研究センター関係研究室担当者
 - 担い手支援課等農林水産部関係職員 合計30人程度
- 内容
 - 「身近に利用できる最新農業ICT事情」
 - 有限会社ワイズマン 代表取締役 原田 賢一 氏
 - 「農業ICT製品の現状と全国の利用動向」
 - 一般社団法人千葉IT経営センター 理事 日本農業情報システム協会 理事 事務局長 堀 明人 氏
 - 日本農業情報システム協会会員企業
 - 「関東農政局管内普及指導員のICT利活用についての状況報告」
 - 担い手支援課 蕨主席普及指導員
 - 意見交換、総括





テーマ

1. 農業の情報化について

- 一昨年度、昨年度と実施した「農業の情報化研修」について、同様の形式で開催し、一年の経過を共有する。

2. 県内の食の関連産業の動向と、そこでの情報化の課題について研究整理